

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 20

2009年9月15日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大産学連携広報より、お知らせやイベント情報をお届けします。
<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>からもご覧いただけます。

★今回の“静大ラボ紹介”は 三浦憲二郎研究室です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「イノベーション・ジャパン2009」で発表・出展いたします
2. 静岡大学生物産業創出推進拠点「第21回研究会」を開催します
3. 「JST Innovation Bridge静岡大学研究シーズ発表会」を開催します
4. 「東海iNET新技術説明会」を開催します

1. イノベーション・ジャパン2009で発表・出展いたします

日時 2009年9月16日（水）～18日（金）10：00～18：00

場所 東京国際フォーラム（東京・有楽町）

主催 （独）科学技術振興機構、
（独）新エネルギー産業技術総合開発機構

静岡大学の発表・展示内容

<新技術説明会/発表>

○9/16（水）12：30～13：00

工学部 井上翼准教授

「ソフト・柔軟・強靱・高導電カーボンナノチューブ繊維」

○9/16（水）13：30～14：00

工学部 三浦憲二郎教授

「様々な絞り模様を加工するデジタルシステム」

○9/17（木）16：30～17：00

教育学部 中野美恵子教授

「高齢者の自立体力テスト」

○9/18（金）13：30～14：00

工学部 海老澤嘉伸教授

「人が注視する点を検出する装置」

<展示 9/16～18>

○教育学部 中野美恵子教授

「高齢者の自立体力テスト」

○工学部 井上翼准教授

「ソフト・柔軟・強靱・高導電カーボンナノチューブ繊維」

○工学部 海老澤嘉伸教授

「人が注視する点を検出する装置」

○工学部 山下光司教授

「がんの早期発見・早期治療のための医用材料のイノベーション」

○工学部 岡島いづみ助教

「垂～超臨界流体を用いる炭素繊維強化プラスチックのリサイクル」

○工学部 犬塚博教授

「果実の硬度の非接触低侵襲測定法」

○工学部 岩田太准教授

「光学顕微鏡とSPMIによる微細計測、微細加工技術開発」

○工学部 大橋剛介准教授

「手書きスケッチ入力による画像内容検索」

○静岡技術移転合同会社（静岡TT0）

入場料 無料

詳細 <http://expo.nikkeibp.co.jp/innovation/index.html>
静大発表の問合せ先 静岡大学イノベーション共同研究センター
担当 藤縄、大内 TEL 053-478-1704

2. 静岡大学生物産業創出推進拠点「第21回研究会」
～アイデアで支える日本の食品産業～ を開催します

日時 2009年9月25日(金) 13:25～16:45
場所 東海軒会館(JR静岡駅より徒歩1分)
主催 静岡大学生物産業創出推進拠点
講演内容
・「無菌包装餅、無菌包装米飯の製造技術及び包装技術の進展」
佐藤食品工業株式会社 生産本部開発部部長 赤塚昌一氏
・「海洋性機能食品素材の開発と応用」
焼津水産化学工業株式会社
取締役機能食品開発部部長 又平芳春氏
・「食品企業の強いR/D体制作りの紹介」
元・カゴメ(株)総合研究所長、
SNAコーチング協会チェアマン 鵜飼暢雄氏
・「微生物を利用した特許のすすめ」
独立行政法人製品評価技術基盤機構
特許微生物寄託センター専門官 吉田和子氏
参加費 会員及び学生・・・無料 非会員・・・1,000円
詳細 <http://bio.cjr.shizuoka.ac.jp/newmeetng21.html>
問合せ 静岡大学生物産業創出推進拠点 事務局
TEL 054-238-3517

3. 「JST Innovation Bridge 静岡大学研究シーズ発表会
～光・電子・ナノテク分野～」を開催します

共同研究に意欲的な静岡大学の研究者が、イノベーション創出の可能性を秘めたシーズ候補をご紹介します。同時開催のポスターセッションにて、研究者と直接意見交換を行うことも可能ですので、ぜひお越しください。

日時 平成21年10月19日(月) 13:00～17:00
場所 東京ステーションコンファレンス(サピアタワー6階)
主催 静岡大学、(独)科学技術振興機構
プログラム

■ A会場 ■

1. シリコン単電子・単原子デバイス(電子工学研究所 田部道晴)
2. 表面プラズモンアンテナと単電子検出器を利用した高感度フォトン検出器の開発(電子工学研究所 猪川洋)
3. 真空ナノテクノロジー及びMEMS技術を用いた光・電子・電力デバイスの開発(電子工学研究所 中本正幸)
4. 新しい蛍光体材料の開発と応用(電子工学研究所 小南裕子)
5. 酸化物光半導体の結晶成長と白色ナノ固体光源(電子工学研究所 天明二郎)
6. 光線力学的療法用光増感剤の開発(工学部 平川和貴)
7. 蒸着重合法による光・電子機能性高分子薄膜の高次構造制御(工学部 久保野敦史)
8. 酸化物ナノファイバーの作製と形状制御(工学部 立岡浩一)
9. ソフト・柔軟・強靱・高導電カーボンナノチューブ繊維(工学部 井上翼)

■ B会場 ■

1. ペプチド結合を利用した量子ドット単層膜の形成
(工学部 川田善正)
2. 位相分解蛍光寿命測定法を用いたイオン濃度定量測定法の開発
(若手グローバル研究リーダー育成拠点 居波渉)
3. 光再構成型ゲートアレイ (工学部 渡邊実)
4. MEMS等価回路による設計法(電子工学研究所 橋口原)
5. ナノ微粒子・ナノ材料の超微量堆積技術に関する開発
(工学部 岩田太)
6. 静電レンズ一体型多段ゲートフィールドエミッターによるカラ
ムレス電子線顕微鏡の開発(電子工学研究所 根尾陽一郎)
7. エネルギー弁別を利用したX線透過による材質識別
(電子工学研究所 青木徹)
8. 時間分解撮像デバイス技術と応用(電子工学研究所 川人祥二)
9. 弾性表面波による液滴搬送技術を利用したマイクロ実験室
(創造科学技術大学院 近藤淳)

対象 発表者との共同研究検討を目的とした企業等の方

参加費 無料 ※事前登録制

詳細/申込 <http://www.deainoba.jp/meeting/091019/index.html>

問合せ 静岡大学イノベーション共同研究センター
TEL 053-478-1413

4. 「東海iNET新技術説明会」を開催します

日時 2009年10月30日(金) 10:00~16:30

場所 JST東京本部 B1F JSTホール

主催 科学技術振興機構、静岡大学、豊橋技術科学大学、
静岡県立大学、豊田工業高等専門学校、浜松医科大学、
光産業創成大学院大学

プログラム

1. 「環境負荷を考慮したマグネシウム材料の表面処理法」
豊橋技術科学大学 工学部生産システム工学系 准教授 竹中俊英
2. 「摩擦機構を利用した制振・耐震壁」
豊田工業高等専門学校 建築学科 准教授 山田耕司
3. 「高活性リグニン分解菌及びリグニン分解酵素とその応用」
静岡大学 農学部応用生物化学科 准教授 平井浩文
- ・ 「東海iNETの技術移転活動について」
静岡TTO、豊橋キャンパスイノベーション(とよはしTLO)
4. 「カテキン誘導体の効率的合成方法」
静岡県立大学 薬学部薬学科医薬品製造化学分野 教授 菅敏幸
5. 「結核菌特異的T細胞エピトープを利用した同菌特異的T細胞検出試薬」
浜松医科大学 医学部看護学科基礎看護学講座 教授 永田 年
6. 「毛髪ミネラル簡易検査用のレーザーアブレーション質量分析装置」
光産業創成大学院大学 光産業創成研究科 准教授 内藤康秀
7. 「DNAチップのプローブ分子として優れた人工核酸及びその設計システム」
豊橋技術科学大学 工学部知識情報工学系 准教授 栗田典之
8. 「高機能自閉症児に認められる特異的代謝異常の医療応用」
浜松医科大学 医学部医学科精神神経医学講座 非常勤講師 松崎秀夫

入場料 無料

静大発表の問合せ 静岡大学知的財産本部 TEL 053-478-1414

《 静大ラボ紹介 -6- 》

工学部機械工学科 三浦憲二郎研究室

位置がずれている2枚の画像の位置合わせをするにはどうすれば良いか？

一般的には、画像内の特徴点（建物の角など）同士を位置合わせして、画像全体の位置合わせを行う。しかし、この方法では、曲線の多い人物画像やなだらかな風景画像などの位置合わせはできない。

そこで登場するのが、三浦研究室で開発しているグローバルモーション抽出技術である。特徴点を用いずに、画像の全ての画素の相関を計算して2つの画像の位置合わせを行う。通常は非常に時間が掛かる演算であるが、GPU（グラフィックプロセッサ）の並列演算に適したアルゴリズムを用いることで、市販パソコン用いても動画の手ブレをリアルタイム（30fps以上）で補正できる。この技術で、M2の高橋さんがIPA（情報処理推進機構）の「スーパークリエイター」に認定された。

<<http://www.eng.shizuoka.ac.jp/index.php?action=newspopup&id=294>>

このほかにも、三浦研究室では意匠デザインや物理シミュレーションなどを研究している。特に、三浦先生が開発した「美しい曲線」は、意匠デザインを美しく安定化させる技術であり、今後の普及が期待できる。（記：神谷直慈）

《 みんなのコラム 》

産学連携を辞書で調べてみると、「産業界と大学の連携により、学術研究に基礎づけられた産業の活性化を図り、競争力の向上、新産業の創出・育成をめざすこと。」とあります。

静岡大学のイノベーション共同研究センターは、静岡における産学連携の「学」側の窓口的役割を担っており、コーディネータは、研究成果から技術シーズを探し出す役割を担っていると思います。イノベーション共同研究センターのコーディネータとして、「産」「学」双方から頼られる存在、そして双方に収穫とハッピーをもたらすことができる存在になりたいと思います。（記：吉田典江）

《 編集後記 》

静大は今年創立60周年。大谷キャンパスのキャンパスミュージアムでは、現在、特別展を開催しています。

会場には静岡大学開学以前から現在に至るまでの写真が並び、学生の様子から戦時中の風景まで静岡大学のあゆみを追うことができます。常設展示として、静岡大学が数多く行っている発掘調査により遺跡や貝塚から出土した遺物や、静大教授が当時最初に船に乗り込み調査を開始した第五福竜丸事件の際回収した物品もあり、幅広い分野での静岡大学の活動を見ることができます。

11月からは、企画展として富士山展も開催されます。日本のシンボルとされてきた富士山を多方面からとらえた静大の研究成果も展示される予定です。

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・購読中止のご連絡は、sangakukoho50cjr.shizuoka.ac.jp までお願いします。（↑送付の際は〇欄に@を入れてください。）

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |



国立大学法人静岡大学イノベーション共同研究センター
編集：原典子
編集責任者：木村雅和
〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1
TEL053-478-1414

--*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*-*
by Copyright(c)2008-2009 Innovation and Joint Research Center,
Shizuoka University. All rights reserved